

おおらかに気負わず

日々の暮らしを楽しむ家

クオリティを重視した
妥協のない大人の住まい

結婚以来、10年以上にわたりマンション暮らしだったSさん夫妻。初めての住まいづくりを経て、昨年、待望の新居が完成しました。目指したのはデザインや素材、性能など、すべてにおいて妥協のないフルオーダーの家。自分たちの好きなものに囲まれた、こだわりの空間です。そんな唯一無二ともいえるマイホームでの新生活。その心地良さはいうまでもありません。充足感に包まれた日々。「以前の暮らしには戻れません」と笑います。

お二人の成功の秘訣は、ビルダー選びにありました。規格住宅ではなく自由な設計で、細部にわたるまで納得しながら進めていきたいと考えたご夫妻。地元で実績のある数社にコンタクトし、最終的に決めたのがトモノ建築設計事務所でした。理由はきめ細やかなヒアリングから始まり、施主の思いが反映され

た確かな提案力やスタッフの人柄、柔軟性など。あらゆる面で抜きん出ていたため、逆に迷うことなく決断できたそう。「もちろん見学会にも足を運びましたよ」と奥様。そこで目にしたのは、オーナーそれぞれの好みや個性が反映された、いずれもオンリーワンの住まい。施主のこだわりがそのまま暮らしやすさに直結したバランスの良い空間に「大きな魅力を感じました」とご主人。さらに性能面でも定評がある同社の家ですが、そのクオリティの高さに驚いたと振り返ります。「訪れたのがちょうど真冬で。床下エアコン1つでポカポカ暖かくて感動しました」と奥様。同社の暮らしへの配慮に「なるほど」と納得の連続だったとか。「さすが、住まいの優等生でした」と口を揃えます。

A_三角屋根と煙突がS邸のシンボル。窓の木枠も素材感が際立ち、さりげなくその存在をアピール。朝、野鳥のさえずりを聞きながらテラスで飲むコーヒーは最高の幸せ。



どこにいても癒され、心にゆとりをもたらす最高の空間

S邸には安らぎを誘うBGMが流れています。コーヒーを飲んだり本を読んだり、時には庭を眺めながらぼんやりしたり。ここはただ居るだけで十分幸せとご夫妻は笑います。

夫婦二人暮らし。広い住まいは必要ありません。「それよりどうやって過ごすか、居場所づくりを重視しました」

リビングは、コンパクトながらも高さのある勾配天井が広がりをもたらして、開放感に包まれています。また床の高低差で空間がゾーニングされ、メリハリのある立体的な室内となりました。そこへ、ゆったり奥行きのある造作ソファやテーブル、畳の間をしつらえて、思いのままに楽しむことができるくつろぎのスペースとなりました。

マンションでは落ち着ける場所がなく、休日には外出ばかりしていたというご夫妻。今では家でまったり過ごす時間こそが最高の贅沢と話します。「私たちの思いにきちんと向き合ってくださったトモノさんに感謝です」

どこにいても癒されるという完成度の高い住まい。そのベースにあるのは、やはり施主のライフスタイルです。「たくさん話をしましたから。いい意味でフ

ラットな関係が築けたこと、思ったことをすべてお伝えできた点もこの満足感につながったのでしょう」とご主人は話します。

普段は東京勤務で多忙な日々でありながら、心身ともにリラックスできる最高の我が家。もっぱらスローライフを満喫中です。

B_リビングを中心に床材にはフローリングやモルタル、畳など様々な素材を使用。それぞれの感触が素足に気持ちいいのだとか。 C_空間そのものを楽しむため、リビングにテレビを置くのはやめたというご夫妻。音楽やラジオを流し心地良さもアップした。 D_窓には断熱性能に優れたトリプルガラスを採用。奥様の要望で木枠サッシに。「樹脂サッシが標準なのですが、手を尽くして探してくださったんです。こうした細やかなサポートもさすがですね」 E_窓際のソファをはじめ、家具はほぼ造作家具を採用。新生活にあたって購入したのは、リビングの丸テーブルのみ。 F_天板に人工大理石をあしらったキッチンの造作作業台。ピザやパンづくりがしたいと広いスペースをリクエスト。中には食器も収納できる。



DATA

敷地面積 917.06㎡ (276.86坪)
延床面積 95.64㎡ (28.87坪)
1F面積 95.64㎡ (28.87坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：集成材、梁：ペイマツ・レッドウッド集成材、土台：ヒノキ断熱材／天井：発泡ウレタンフォーム200mm、壁：硬質ウレタンフォーム85mm、基礎：(立ち上がり)ポリスチレンフォーム100mm・(底盤)ポリスチレンフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：ペルアート塗装 主な内装仕上げ／天井：漆喰・クロス、壁：漆喰・クロス・タイル、床：フローリング・畳・モルタル・タイル 開口部／樹脂サッシトリプルガラス・木製サッシ キッチン／クリナップCENTRO キッチン熱源／IHクッキングヒーター バスルーム／TOTO サザナ 暖房の種類／高効率エアコン・薪ストーブ(スキャンサム) C値／0.44 UA値／0.40

PLAN



Comment

Owner: Sさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A 効率や機能性よりも家での居心地を第一に考えました。無理せず素直に心や体がゆったりできる空間づくりです。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 思った以上に床の段差がよかったです。フェイクを使わずにだけ本物の素材を選んだことも正解でした。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A やりたかったことを叶えてくださったこと。連絡もレスポンスが早く、二人三脚で楽しく家づくりが進められました。

Builder: 設計／渡邊千佳さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

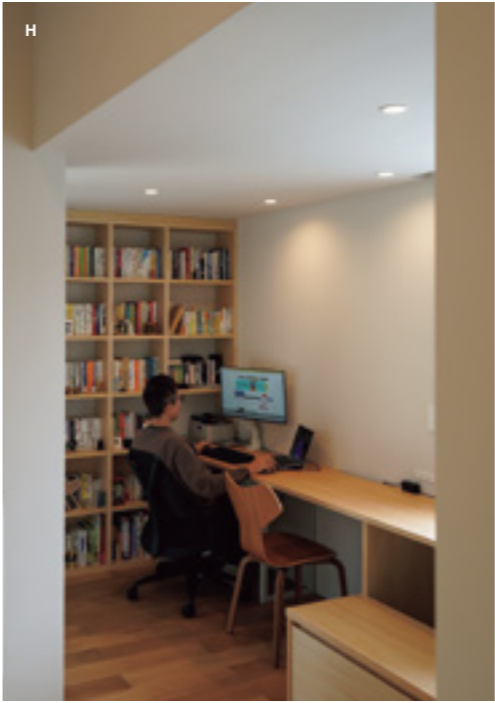
A 数々の居場所がある住まいです。施主様の使い勝手を考えて一緒につくり上げた造作家具もポイントです。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 開放感と落ち着きのあるリビングダイニング、段差ごとに居場所があり各々の時間を過ごせる空間、素材や色合いへのこだわり。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A 施主様の声に耳を傾け、思いを最優先すること。常にアンテナを張り、より良い提案ができるよう心がけています。



G_寝室にも段差を設けた。ご主人いわく、「ホテルや旅館のような空間を目指した」そう。吉村障子の美しさも際立つ。 H_現役世代の夫妻にとってワークスペースは必須。机や本棚などこちらも造作家具で統一され使い勝手は抜群。 I_部屋は区切らず、空間につながりをもたせたいとすべて引き戸に。普段から全開でオープンな状態にしている。 J_寝室を出てすぐの洗面室。造作の洗面台に、カラーが気に入って海外から取り寄せたという洗面ボウルが2つ並ぶ。 K_ランドリールームはタイル貼り。収納はもちろん作業台としても便利な幅の広い造作カウンターを設置。 L_外観とマッチしたシンプルなカーポート。黒いスレンダーな宅配ボックスはご主人がセレクト。

